

★地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は… 役場企画財政課広報統計係
☎ (86) 1134 [直通]

城川内小学校で「そば作り」体験学習

そば粉 100%のそば作りを目指す

1月14日、城川内小学校（95人・中野茂隆校長）では、3・4年生たちが、そば作りの体験学習の一環で、昔ながらの石臼でそば挽き体験を行いました。

9月に唐隈の小田強さんを講師として引き種まきを行い、12月にはそばの実を収穫しました。

そば挽きを体験した町田莉乃さん（4年）は「種まきからそば挽きまで体験できてよかった。最後は手作りのそばを食べてみたい」と話していました。同校では今後、そば打ち体験を行い、小田さんらを招いて実食会を行う予定です。



↑ 12月のそば収穫の様子

町内各地で鬼火たき

1年の無病息災を願う

1月上旬、町内各地の集落で鬼火たきが行われました。

福ノ浦集落では1月7日、雨が降る前にと集落の役員や育成会が中心となって午前中からやぐらを組み、お昼には火をつけていました。

火の勢いが落ち着いたころには、正月の間、玄関などを飾ったしめ縄などが投げ込まれ、火を囲みながら餅やぜんざいなどを食べて今年1年の無病息災を願いました。同集落の育成会長の濱口文春さんは「年初めに集落の人たちが一同に集まり、顔合わせをする。鬼火の餅を食べて、子どもたちが元気に育っていけば」と話していました。



↑ 鬼火の前でぜんざいを頬張る子どもたち

第66回社会を明るくする運動作文コンテスト

県の最優秀賞を受賞

蔵之元のぞみ小学校（69人・山田哲夫校長）5年の道添叶望さんが、法務省が主唱する第66回「社会を明るくする運動」作文コンテストの小学生の部で、鹿児島県推進委員会委員長賞を受賞しました。

1月12日、表彰伝達のために訪れた出水保護区保護司会の豊田直俊会長は「小学生として更生保護について、しっかりとした考えをもっていることに深く感動を受けた。これからも、小中学生や町民の皆さんも社会を明るくする運動に協力してもらえれば」とあいさつ。受賞した道添さんは「県の最優秀賞に選ばれてうれしいです。これからも良い作文を書けるよう頑張りたいです」と受賞を喜んでいました。



↑ 受賞した道添叶望さん（写真中央）